

トップメッセージ



－ Sustainability －

持続的成長を実現していくために、
私たちは未来に向けて挑戦します

代表取締役社長 西田 義則

私たちを取り巻く環境および課題

東京オリンピック・パラリンピックの開催を目前に控え、民間プロジェクトやインフラ投資等によって、建設市場は引き続き堅調に推移しています。一方で、建設投資がインフラの新設から維持修繕へとシフトが進み、PFI・コンセッション事業が拡大していくなど、市場環境は緩やかではありますが刻々と変化しつつあります。

また、少子高齢化社会が進むわが国において担い手を確保し生産体制を維持していくことは、まさに喫緊の課題であり国・業界を挙げて、働き方改革と生産性向上への取り組みが行われています。

中期経営計画(2018-2020年度)の策定

このような状況の下、当社は持続的成長を実現するために中期経営計画(2018-2020年度)を策定しました。中期経営計画では、まずコンプライアンスを全ての事業活動の前提としています。その上で、①インジェク土工法、保水性舗装などの保有技術や長年蓄積してきた技術力など当社の強みを生かした「本業のさらなる強化」、②維持修繕事業や建築事業、海外事業等の「新たな事業分野への挑戦」、③IT技術の活用や人事諸施策などによる「働き方改革・生産性革命の推進」、④ものづくりを行う企

業の責務として「安全・環境・品質トラブルの防止」などの取り組みを推進し、社会から必要とされ続ける企業を目指してまいります。

大成建設グループの一員として

当社は、10月1日より、1992年から20年以上使用していた社章を大成建設グループの社章と統一しました。統一することで、当社が大成建設グループの中核企業であることを社内外に明確に示し、「グループ力」のシナジー効果を最大限に生かすとともに、コンプライアンス遵守の徹底や働き方改革の推進に向けた意識改革につなげていきたいと考えています。

「自然」と「社会」と「人」に 深くかかわる企業として

当社は、自然環境や地域の景観に配慮した舗装技術の開発や工場のリニューアルを行っております。そして、これからも道路建設を中心とした社会基盤の整備にかかわりながら、企業理念である「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためにより良い環境を創造する」ことを実現してまいります。